

環境通信 第4号（3月号）

平成31年3月発行（年4回発行）・発行元：大分市環境対策課・地球温暖化対策おおいた市民会議

さんまるいちまる 食べきり！おおいた3010運動を知っていますか？

日本では、まだ食べられるにも関わらず廃棄されている食品（食品ロス）が、1年間で**646万トン**にもものぼると言われています。これは、**国民一人あたりが毎日お茶碗一杯分のごはんを捨てているのと同じ量**です！特に宴会や飲み会では、親睦を深めるために席を離れることから、食べ残しが多くなっています。

このような食品ロスを減らすために、大分市では「**食べきり！おおいた3010運動**」を推進しています。これは、宴会等のはじめの30分と、おわりの10分は自分の席で食事をし、食べ残しを減らすための運動です。

忘年会や新年会、お正月など大勢で集まる機会の多い時期、みなさんの食卓や外食時に食品ロスを見かけませんでしたか。参加者同士で声を掛け合って、食品ロスを減らしていきましょう。

これから、季節は暖かくなりお花見や歓送迎会シーズンの到来です。目の前に出された食事は、なるべく残さずおいしく食べきりよう心がけましょう！

大分市では食品ロスをなくすための日常のちょっとしたコツやアイデアを市民の皆さんから募集しています。これまでにいただいたアイデアの1部を紹介します！

【食品ロス0（ゼロ）宣言！アイデア集（一部抜粋）】

- ・使い終わったお茶の出がらしでふりかけを作りピラフやパン、お肉料理などに使う。
- ・玉ねぎの皮の茶色い部分をよく洗い煮出すと玉ねぎ茶ができ、血液サラサラ効果。
- ・食卓でそれぞれ食べる分をワンプレートに入れ込んで、その分は必ず食べてもらう。大皿盛り付けをやめる。



（大分市の食べきり！おおいた3010運動のチラシ）

環境教育副読本「わたしたちと環境」をご活用ください！

大分市では、環境問題やゴミ問題などをわかりやすく解説した、**環境教育副読本「わたしたちと環境」**を毎年作成しています。内容は小学校高学年向けに作られており、たくさんイラストで環境問題を解説しているので、環境学習の際には是非ご活用ください。

大分市ホームページから簡単にダウンロードでき、必要な項目だけ印刷して使うことができます。

大分市内の小学校には毎年1学期に副読本の冊子とDVDデータを提供し、学校の環境教育の場などで活用しています。

大分市のホームページから
ダウンロードして使ってね♪



エスディジーズ SDGs（持続可能な開発目標）とは。

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことです。これは「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2016年から2030年までの国際社会共通の目標を定め、日本でも積極的に取り組んでいます。SDGsは、17の大きな目標と169のターゲット（具体目標）により構成されています。この17の目標のうち、少なくとも12が環境に関連しており、環境省でもアジェンダの実施に向け気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会の取組等）等の分野において国内外における施策を積極的に展開するとしています。

【SDGs 17のゴール ※うち赤字は少なくとも環境に関連している12のゴール】

（環境省HP <http://www.env.go.jp/earth/sdgs/index.html> より）

- ① 貧困の撲滅
- ② 飢餓撲滅、**食料安全保障**
- ③ **健康・福祉**
- ④ 万人への**質の高い教育**、生涯学習
- ⑤ ジェンダー平等
- ⑥ **水・衛生**の利用可能性
- ⑦ **エネルギー**へのアクセス
- ⑧ 包摂的で**持続可能な経済成長**、雇用
- ⑨ 強靱なインフラ、**工業化・イノベーション**
- ⑩ 国内と国家間の不平等の是正
- ⑪ 持続可能な**都市**
- ⑫ **持続可能な消費と生産**
- ⑬ **気候変動**への対処
- ⑭ **海洋**と海洋資源の保全・持続可能な利用
- ⑮ **陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性**
- ⑯ 平和で包摂的な社会の促進
- ⑰ 実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化



（SDGsの17の目標について）

環境省では、国際社会及び国内におけるSDGsの実施状況を共有するとともに、環境側面からのSDGsの取組を推進するために、民間企業や自治体、NGOなどの様々な立場から先行事例を共有して認め合い、さらなる取組に弾みをつける場として、平成28年度から「ステークスホルダーズ・ミーティング」を開催しており、昨年12月には第7回目の会合が開かれました。

環境省だけでなくSDGsに関連した取組は国内外で様々な分野に広がり、その重要性は年々高まっています。こうした取組について、私たち個人や地域での活動において、具体的に何をすればよいのでしょうか。

個人でできるSDGsの身近な取組として、買い物のときに、環境負荷や児童労働などの人権問題を起こしていない商品を選んだり（目標①、⑧、⑫、⑭、⑮に関連）、節水（目標⑥に関連）やリサイクル（目標⑫に関連）に取り組むこと、二酸化炭素の排出量の少ないエネルギーを利用すること（目標⑦、⑬に関連）などが挙げられます。

大分市でも、地球温暖化対策おおいた市民会議委員の皆様とともに「大分市地球温暖化対策実行計画（区域政策編）」を策定し、低炭素社会実現に向け、市民・事業者・行政が協働して様々な地球温暖化対策の取組を進めています。

市民会議委員の「取組」や「温暖化に対する思い」について紹介します！

氏名 安藤 誠
団体名等 大分県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO 法人 大分県地球温暖化対策協会)
団体肩書き 副センター長



NPO法人大分県地球温暖化対策協会は、大分県地球温暖化防止活動推進センターとして大分県や国の委託等を受けて、啓発・広報、地球温暖化防止活動推進員（82名）の研修、エコドライブセミナー等を行っています。また、家庭の省エネ診断、事業所の省エネ診断や太陽光発電施工・保守点検の研修等も行っています。皆様と共に、低炭素社会の構築に向けて省エネ・創エネ・蓄エネ等、私達が今出来ることに、取り組んでいきたいと思っております。

氏名 渡邊 紀子
団体名等 (一社)大分市連合医師会
団体肩書き 大分市東医師会 事務局長



地球温暖化については、ひとりひとりが意識を持つ行動から始まり、あらゆる分野、産業が取り組まなければならない事案で地球と真剣に向き合うべきであると感じました。医師会として、今後も医療機関に広報・周知等で少しでもお力になればと存じます。

氏名 玉田 学
団体名等 おおいた市民環境大学OB会
団体肩書き 代表



私達のグループは市民の代表として温暖化防止活動をしています。市民の温暖化の状況の認識は、日々の状況から認識されて来ているように思いますが、各家庭での防止活動はなかなか浸透し難く、取り組みやすい方策として、環境省のクールチョイス（賢い選択）活動を国民運動として展開しています。冬はウォームビズとしてエネルギーを使わず“温かく過ごす”賢い選択を提案しています。皆さんも一度見て確かめてみてください。
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

氏名 溝部 敏勝
団体名等 公募委員



うつくしい地球の姿を、健全な状態でかわいい子や孫たちに引き継いでいくことは、現在社会に生きる私たちの責務であると考えます。私たちの日常の暮らしから二酸化炭素の排出量を「見える化」し、皆で二酸化炭素の排出量を削減していきましょう。

氏名 西原 謙治
団体名等 大分コンビナート競争力強化検討部会
(昭和電工株式会社大分コンビナート)
団体肩書き 生産技術部 チーフエンジニア



大分石油化学コンビナートでは、温室効果ガスであるCO₂の多くは化石燃料の使用により発生します。そこで、(省エネルギーの推進)→(化石燃料使用量削減)→(CO₂排出量削減)の取り組みを継続することで、地球温暖化防止に努めています。また本年からは、新設した液化炭酸ガスプラントを本格稼働し、大気へ放出していたCO₂から炭酸ガス製品を製造し、環境負荷を低減します。

氏名 田村 理昭
団体名等 大分市工業連合会
団体肩書き 事務局次長



国内のCO₂等の温室効果ガス排出量のうち、約8割が企業や公共部門からのものと認識しております。従いまして、企業と致しましては地球温暖化防止のための社会的責任を果たすためには、継続的に温室効果ガスの削減に取り組んでいかなければと思っております。私共企業団体と致しましても、会員企業に引き続き省エネ機器の導入や生産設備、照明設備の改善、不要照明の消灯、空調の温度管理といった省エネの推進を促し、温室効果ガス排出削減に向けて周知徹底していきたいと考えております。何れにしましても、温暖化対策は日本国民一人一人ができる僅かな工夫、努力からこそがこの地球を救うことになるのではないのでしょうか。

氏名 赤嶺 義美
団体名等 (一社)大分県タクシー協会
団体肩書き 事務局長



タクシー業界における環境対策としましては、温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして開発されたLPG-ハイブリッドシステムを採用し、同時に燃費の向上を図ったトヨタのJAPAN TAXIや日産の電気自動車等の車両の導入を進めてCO₂排出削減に取り組んでおります。更に導入が進んでいます新型車両のエアコン冷媒には、オゾン層を破壊しない代替フロンを採用するなどオゾン層破壊防止につきましても努力しております。

氏名 末松 裕嗣
団体名等 (一社)大分県産業資源循環協会
団体肩書き 事務局長



当協会では、自ら考え行動できることも達の育成が、地域の環境、ひいては地球環境の保全に繋がるとの観点から、平成26年度から小学校4年生を対象に「環境出前講座」を実施しています。ごみの排出や不法投棄の実態、分別の必要性や3Rの意味などについての学習、約束の木の作成、廃棄物収集運搬車両や重機などの見学・操作体験などのプログラムで構成しています。

氏名 森本 亨
団体名等 大分市
団体肩書き 農林水産部長



森林は、二酸化炭素吸収源として、温暖化対策において重要な役割を担っていますことから、農林水産部では、持続的な森林整備のため、伐採から再生林、間伐などを積極的に推進し、健全な森林づくりに努めております。また、拡大する荒廃竹林の解消に向け、地域の皆様と協働で里山整備を進めながら、竹の有効活用に向けた取り組みを進めております。

委員のみなさん、ありがとうございました。次回は6月の発行です。お楽しみに！